

学生の声

## 情報処理基礎科目の感想

教育地域科学部 地域環境コース1年 橋本 聖也

私は前期の授業で情報処理基礎科目を受講しました。大学に入り初めての情報系の授業だったので、どのようなものか興味がありました。大学の授業は発展的なことするのではないかと少し不安もありましたが、実際受講してみるとコンピュータのいろいろな機能の基礎的な部分を固めていくという内容ですんなりと授業に入っていました。また授業のテーマごとに先生が入れ替わり私たちに教えてくださったので、毎回新鮮な気持ちで授業に臨むことができました。私たちは中、高、場合によっては小学校からコンピュータに触れてきたので、WordやExcelについてはある程度知っているつもりでした。しかしその中には自己流のやり方で操作している部分が多々あることを受講してみて思い知らされました。そして先生方には、適切に、少しでも早く作業を進められる方法を教えていただきました。

私はこの情報基礎科目を受講して新たに、Excelでグラフを作る方法や、jpgなどの画像の違いなどいろいろなことを学びました。Power pointは卒論の発表には不可欠だし、WordやExcelなどもこれからの授業で絶対に必要となってきます。そのためにもこの授業でそれらの基礎をしっかりと学んでおくことはとても意義があると思います。ただ先ほども言いましたが、私たちは学校の情報の授業でコンピュータに触れてきました。ですので、基礎だけでなく、少し発展的な内容も織り交ぜていけばよいと感じました。

最後のテストは授業で習った内容の総まとめで、6割以下なら「不可」、8割以上なら「優」という完全な実力主義でした。とても緊張しましたが何とか問題を埋めることができました。大学では出席点重視の講義が多いですが、このような本来の実力主義のほうが学生の緊張感を高め、結果的に技術や質を向上させると 생각합니다。ただ私は出席点重視の講義もありがたいと思いますが…笑。

私は地域環境コースなのでコンピュータを使った授業がたくさんあります。これからはこの授業で学んだことを生かし、基礎をしっかりと固めた上で発展的な内容に取り組んでいきたいです。